

山梨県笛吹市の総合事業について（連携計画策定）

（策定調査）

現状及び課題

- 本市の交通手段は自家用車を中心となっているが、今後、高齢化の進行により、運転ができなくなる高齢者の増加が見込まれる。
- 交通不便地域においてバスの実証運行を行ったが、運行を維持していただく利用の増加が見込めず、運行を休止した。
- 民営バス路線の運行と合わせて、旧町村から運行を引き継いだ市営バス路線の見直しも含めて、市内全域を捉えた検証を行っていく必要がある。

目標・方向性

バスの利用実態や利用者ニーズを把握し、民営バス路線や市営バス路線の運行と合わせて、新たな方式による公共交通の運行も視野に入れながら、市内全域での効率のよい公共交通網の再編整備を行う。

事業の内容

- 市営バス追跡調査
実証運行路線沿線において、実証運行の実態と、今後の新たな交通手段等の方向性についての意向調査の実施（地図上①のエリア）。
- 現況交通実態調査
既存バス路線（地図上：一宮バス、境川バス、芦川バス、その他点線で示した民間路線バス）の運行状況調査の実施。
- 連携計画策定
前記の調査結果を踏まえ、路線の再編や新たな交通手段確保等を含めた連携計画策定と、その実現に向けた取り組み。

山梨県笛吹市：総合事業の実施区域

笛吹市内バス路線図

